

枝小だより

令和4年10月26日発行 No. 7

本校の教育目標「ひとつと」
ひらく ～自ら学びを切り拓く～
つながる ～知恵と力を合わせる～
ととのえる～自立の力を高める～
2020年3月制定

今こそ「ありがとう」を大切にしたい

校長 青山 天生

先月号で児童会による「ありがとうの木」の取組を紹介しました。ある保護者の方から「素晴らしい取組ですね。」とうれしいお言葉をいただきました。そこで、今月号では「ありがとう」の言葉について考えてみます。



「ありがとう」の語源については、諸説ありますが、「有り難し（ありがたし）」という言葉が変形して、ありがたいになったようです。「有り難し」は「本来起こることがないできごと、非常にまれなこと」という意味です。はじめは、神様や仏様があり得ないことを起こしてくれたときに、賞賛（しょうさん）する言葉として「有り難し」＝「ありがたい」と使っていました。時代が進み、いつしか人に対しても使われるようになりました。日常生活において、相手が何かしてくれることは決して当たり前ではなく、一つの奇跡のようなもので、そのことに感謝の気持ちを忘れないための言葉になりました。

私は、毎日「ありがとうの木」にある枝小っ子の言葉を読むようにしています。「〇〇先生、いつも授業をわかりやすく教えてくれてありがとう」「児童会のみんな『ありがとうの木』を作ってくれてありがとう」読む度にほっこりとした温かい気持ちになります。その一方で、私は少し恥ずかしい気持ちにもなりました。「最近、思いどおりにならないことに、ささくれ立っていないか？」私の口から出る言葉は、「不平不満・悪口・文句・・・」が多くなっていました。そんな私も「毎朝、校長先生、寒くないのですか？」「ゴミを拾ってくれてありがとうございます。」という子どもの言葉のお陰で、「よしっ、がんばろう！」と奮い立つことができます。

先日、ある本を読んでいたら、私にとって都合の良い内容を見付けました。「もし、不平不満・悪口・文句・愚痴・泣き言などネガティブな言葉を言ってしまったら、『今のは、ナシナシ！今のは間違いで～す！！』」と取り消せば良いとのこと。言ってしまったことより、言ったことに気付かない方が問題だという考えのようです。

また、子どもたちに伝えたい内容もありましたので紹介します。人が成す行動の中で、幸せを呼ぶのは、「掃除」「笑い」「感謝」の三つだそうです。この三つは、時と場所を選ばず、お金がかかりません。「掃除」は自分の身体を使って身の回りをきれいにする実践。「笑い」は思うだけでなく顔に出して、まわりで起こるできごとを肯定的（こうていてき）に受け止める実践。そして「感謝」は「ありがとう」と声に出す実践。三つの実践を積み重ねれば、他者から好意的に受け止められるので、やがて幸運がやってきて、楽しく・おもしろいことが起こるようです。これを「運は動より生ず」と言います。

「ありがとうの木」は単なる掲示物ではありません。子どもたちにとって学校が楽しくなる、支える大人たちをも幸運のループに誘う「魔法の木」なのかも知れません。

◆枝幸小学校ホームページ

<http://esashi-elementary-school.edumap.jp>

ブログによる日常の様子や、新型コロナウイルス感染症に関する通知を載せています。ご覧ください。



11月の予定



3日(木) 文化の日

4日(金) 委員会
食に関する指導(4年生)

9日(水) 研修日

10日(木) 会議日

11日(金) 後期児童総会(3年生見学)

13日(日) 管内PTA研究大会(ZOOM)

14日(月) 非行防止教室(5・6年生)

16日(水) 町研大会参加のため、
全校4時間授業

17日(木) 職員会議

20日(日) ｱｯﾄﾞ ｲﾁｼﾞﾝｸﾞ ｾﾞｰ

22日(火) 参観日(2・5年生)

23日(水) 勤労感謝の日

24日(木) 会議日

25日(金) 参観日(3・4年生)

28日(月) 参観日(1・6年生)

29日(火) 知能検査(1年生)

30日(水) 校内研修日(指導主事訪問)

※下線の日には、会議日課です。

◆感染予防と学びを止めない取組

～感染拡大を防ぎ、子どもの学ぶ意欲とつながりを切らない～

10月連休後に、町内での新型コロナウイルス感染症の拡大が進み、陽性者や濃厚接触者となって欠席する児童が増えました。小学校では、普段からのマスク着用(鼻マスクも×)と手洗い・消毒・黙食に加え、警戒対応として、教職員による給食配膳、休み時間の遊び場+清掃区域を学年固定とし、異学年が接触する機会を少なくして下校後も家で過ごすよう呼びかけています。

欠席した児童には、Teamsによるオンライン授業を実施しています。1学期からのICT活用の授業やiPadの持ち帰りが基本となり、健康観察の入力やオンライン授業への参加ができるようになりました。オンラインでつながった児童は、手を振りあうなどして、授業のほか休み時間も交流しています。

今週に入り、復帰する児童も増えてきました。全員がそろって学習や生活できることを楽しみにしています。



オンライン授業(国語)

保健指導も映像を使って



ICTを活用した書写指導

背中合わせで待機する視力検査

◆第132回学習発表会

One for all All for one
協力できる学習発表会

10月16日(日) 学年別の入替方式で学習発表会を実施しました。たくさんの方に子ども達のがんばりを観ていただきました。ありがとうございました。

